

心に残る文化財子ども塾(6月30日実施) 松江市中央小学校6年

担当:平石 充 橋本 剛

1. 活動の概要

6月30日(木)の午前、松江市立中央小学校で「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。

当日は外気温が35度を超える猛暑でしたが、直射日光の当たらない西側の体育館で実施しました。前半は中央小学校の周辺の遺跡、飛鳥時代の横穴墓や、古代には学校周辺が海だったこと、白潟付近には陸地(砂浜)があり、遺跡があるかも知れないこと、大仏の造立にあたり、大原郡大東町からも地金となる金属が持ち込まれたことなどを学びました。

つづいて、大仏が作られた頃、奈良時代の土器について実際に手にとって見学しました。5つの土器それぞれを実際に手にとって、肌触りや重さなどを一人ずつ順番にみたので、長い列ができました。

後半は、体育館での大仏作りです。一番下の台座の部分だけ並べてある大仏パネルを組み立てます。頭の方に行くにしたがって、だんだん台座からずれてきます。どこを基準にそろえていくか、計画性と皆の協力が必要です。いったん並べ終わった後、皆でずれている部分を調整して、きれいな大仏さまが完成。記念写真を撮影しました。大仏作りが終わった後は、感想コーナーです。「奈良時代の実物を触ったのは初めて」「大仏が大きい」など、たくさんの手が上がりました。

最後は、片付けです。コロナウイルス蔓延下なので、パネルの端をアルコールで消毒して終了。ありがとうございました。

2. 活動の様子

1) 奈良時代の中央小学校周辺を学ぶ



中央小学校周辺の遺跡について勉強



奈良時代の食器を触ってみた。ざらざらしてますね。

2) 大仏づくりの体験



どこから取りかかろうか？



隙間を無くそう。



大仏完成！！



大仏の上に乗ってみた

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・(学習)遺跡が学校の近くにあるとは思わなかった。
- ・(体験)奈良時代の土器、重い、ざらざらしている
- ・(体験)大仏をみんなで協力して時間内に作れた。
- ・(もっと知りたいこと)奈良県に行って、本物の大仏を見てみたい。
- ・(やってみたい体験)まが玉作り。

2)担任の先生から…

- (よかったこと)だれでも参加できる活動だった。
- (よかったこと)教科書を通してだけでは伝わらない、大仏の大きさや作るための労力を感じることができた。
- (今後の希望)国分寺跡など、現地で説明も聞くフィールドワークも希望します。

3)古代文化センターから

大仏パネルによる大仏造り体験は、作りなれていると私たちも終わってみると「やはり大仏は大きいんだな」と感動します。話だけを聞くと、縦・横に並べれば簡単じゃないか、と思うかも知れませんが、パネルは全部で 190 枚ほどあり、実作業に当たっては一定のルール(基礎の部分から、中軸がずれないように作る)にしたがって協力して作らないと、不細工な仕上がりになってしまいます。

中央小学校の 6 年生の皆さんもそこら辺のやりかたを自ら発見して、単に並べたのではなく、よりよい美しく見えるよう努力して仕上げています。これは何時の時代、どんな仕事にも共通することではないかと思います。自分たちの体験を通して、奈良時代に実際には金属でこの大仏を作ったこと、そこで生まれたいろいろな工夫について、考えてもらえると良いと思います。